
第2回アニメキャラ限定 謎解きバトルTORE!

よしかず

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

第2回アニメキャラ限定 謎解きバトルTORE！

【Nコード】

N9865Y

【作者名】

よしかず

【あらすじ】

今回のTOREで対決するアニメは、俺の妹がこんなに可愛いわけがないととらドラ！という、ライトノベル原作のアニメ同士の対決。

果たしてどちらのアニメがより多くの秘宝を獲得できるか・・・。

挑戦者の紹介

今回、TOREで対決するアニメは「俺の妹がこんなに可愛いわけがない」チームと「とらドラ！」チーム。人気ライトノベルのアニメ対決である。

挑戦者 俺の妹がこんなに可愛いわけがないチームからは、高坂桐乃・高坂京介・田村麻奈実・沙織・バジーナ（槇嶋沙織）・黒猫（五更瑠璃）

とらドラ！チームからは、逢坂大河・高須竜児・櫛枝実乃梨・北村祐作・川嶋亜美

果たしてライノベ原作のアニメ対決、果たしてどちらが多くのファラ男像を獲得し、賞金獲得に挑むのか・・・。

ファラ男との会話

T O R Eのスタジオに集まる俺妹ととらドラの面々。

ファラ男「ようこそT O R Eへ来てくださいました！俺妹ととらドラの皆さん！」

桐乃「この番組で私たちがどれだけ頑張れるかが重要ね。勝つためにはちゃんとやりなさいよ、あんた！」

桐乃は京介に言う。

京介「桐乃、気合入ってるな・・・。」

大河「竜児！あんた絶対に足を引っ張らないでよ！」

竜児「あーわかってるよ・・・。」

大河の威圧的な顔に竜児はタジタジ。

ファラ男「どうやらこの2つのアニメの共通点は、主人公がヒロインに世話焼かされてばかりな所ですね。」

桐乃「それを言わないで！」

大河「それを言うな！」

桐乃と大河は2人同時にファラ男に言った。

ファラ男「君たち、実は宣伝があるんでしょ？宣伝に為にTOREのゲームをがんばらなくちゃ。」

ファラ男が言うと桐乃と大河は、

桐乃「え？あんなたち宣伝の為にここに来たの？」

桐乃はとらドラチームに言う。

大河「何？そっちも宣伝するために来たのか？」

返すように大河は俺妹チームに言う。

桐乃「だったらこれは負けられない戦いね。」

大河「こっちもこのアニメをアピールするために勝ってみせる！」

ヒロイン2人は闘志を燃やす。

京介・竜児（たかが宣伝ぐらいでそんなに闘志燃やすなよ……。」

主人公2人はこう思っていた。

麻奈実「せっかくここに来たんだから、楽しくやらないとね。」

沙織「TOREにゲームに参加できるのが楽しみでござるな。」

黒猫「おもしろいのかな？この番組。」

実乃梨「よし、私たちも頑張るぞー。」

亜美「絶対に勝つわよー。」

北村「僕たちのチームの女子、結構気合入っているな。」

男ナレ「ルールはこちら。各チーム2つのステージに挑戦し、最終的にファラ男像を最も獲得したチームが、賞金獲得の為の最後の試練に挑む！」

第1ステージ、まずは俺妹チームの挑戦。

俺妹チームの挑戦 床の間 その1

俺妹チームが挑戦する第1ステージは床の間。

挑戦するのは、高坂桐乃・高坂京介・田村麻奈美。
滑りやすい床に、奥には奈落の底。

果たしてこの3人はうまくまとめられるか！？

3人は手袋と靴下をした状態で部屋に入ってくる。

桐乃「ここが私たちの挑むステージね。」

麻奈実「でも一見すると何もないみたいだね。」

京介は奥の方を見て、

京介「いや、奥に深い穴がある。絶対何かがあるはずだ。」

そしてモニターにファラ男が現れる。

ファラ男「ファラファラファラファラ、ようこそ床の間へ！桐乃、あまり仲のよいとはいえない2人と組んで挑戦だけど大丈夫？」

桐乃「ま、まあ今回だけは兄貴と地味子と一緒に協力して、このステージをクリアしてみせるわ。」

ファラ男「そうですかー。」

京介（本当に噛み合えるのか？桐乃と麻奈実・・・。）

京介は心配そうに思っている。

ファラ男「それでは早速、この部屋の仕掛けを説明しましょう！」

ファラ男がそう言つと・・・、

麻奈実「えっ、何ですか！？床が傾いていますよ！」

床が傾き始めた。

男ナレ「そう！床が坂になるのがこのステージ！床は30度まで傾き始める！」

京介「とにかく、まずこの足場に足をついた方がいい！」

京介はそう言い、3人はあらかじめついている足場に足をつける。

そして床は30度まで傾いた。

男ナレ「このステージでは、10分以内に傾く床を移動しながら、3つのゾーンでクイズに挑む。全てクリアすると最後の難関に挑戦できるが、一歩間違えれば奈落の底へ……。この状態から、3人の挑戦が始まる！」

アイヤーホイヤー

チャレンジ開始

女ナレ「チャレンジスタートです。」

ピーーー

そして10分のカウントダウンが始まる。

桐乃「始まったみたいね。」

ここからは桐乃 桐、京介 京、麻奈実 麻と省略します。

女ナレ「第1ゾーンに移動してください。」

そして第1ゾーンの足場が現れる。

麻「どうするの?」

京「よし、俺が土台になって2人を向こうに行かせることにするか。」

桐「じゃあそれで決まりね。じゃあまず私からよ。」

そう言うのと桐乃は京介の方に乗っかる。

桐「よし、行くわよ。」

桐乃は第1ゾーンの足場へ飛び越えようとする。

バッ

楽々と足場に着いた。

桐乃「ちゃんと着いたわよ。」

麻「じゃあ次は私ですね。」

麻奈実は京介の肩に乗っかる。

麻「でももし落ちたら・・・。」

麻奈実は少し不安そうだ。

京「桐乃、悪いが手を伸ばしてくれないか？麻奈実を確実に行かせるためにも。」

京介の言葉に桐乃は、

桐「・・・しょうがないわね。わかったわ。地味子、ちゃんと手をつかみなさいよ！」

桐乃の高圧的な言葉に麻奈実は、

麻「はい・・・。」

快く返事をした。

そして桐乃は麻奈実に向かって手を伸ばす。

麻奈実も手を伸ばし、

ガシッ

2人は手をつないだ。

麻「じゃあ行きますよ。」

麻奈実は移動しようとする。

麻「おっとと・・・。」

慎重になりながらも無事に足場へ着いた。

京「じゃあ最後はオレだな。」

京介はダッシュで駆け上がろうとする。

京「おらっ！」

バッ

駆け上がった。

そして余裕で足場にたどり着いた。

京介は体全体を上にする。

京「よし、これで3人そろったな。」

女ナレ「第1ゾーン、クイズスタートです。床が傾き始めます。」

床 始動

京「傾いてきたぞ。」

女ナレ「共通ワードクイズ、正解ノルマは3問。」

男ナレ「共通ワードクイズは、2つの文を見て、共通する言葉を当てるクイズである。」

女ナレ「第1問。」

- 1・拳銃を折りました。
- 2・鍵盤楽器です。

ん

麻「銃を折った……。」

京「鍵盤楽器……。」

桐「拳銃……ガン、折った……、あっわかったわ!」

桐乃はボタンを押し、

カチッ

桐「『おるがん』!」

ピンポーン

正解 おるがん（1・折るガン 2・オルガン）

京「早いな。」

女ナレ「第2問。」

1・タコにあるものです。

2・10人でかけっこし、ビリから2番目。

ん

2文字目は小さい文字。

京「10人でかけっこしてビリから2番目ということは9位だな。」

桐「そうね。それからタコにあるものと言えは・・・、」

桐乃は考えていると、麻奈実が、

麻「吸盤じゃないの？」

桐「あつ吸盤ね！」

桐乃はボタンを押し、

カチッ

桐「『きゅうばん』！」

ピンポーン

正解 きゅうばん（1・吸盤 2・九番）

桐「あと1問ね。」

女ナレ「第3問。」

1・国の借金的事了。

2・異常なにおいがする子供です。

い

桐「どういふこと？異常なにおいがする子供って？」

麻「国の借金って、何でしたっけ？」

3人は考える。

すると京介が、

京「異常なにおい、くさい・・・子供・・・くさい子、子くさい・
・・・あつわかつた！」

カチッ

京介がボタンを押した。

桐「え、わかつたの？」

京「『ごくさい』！」

ピンポンピンポン

正解 こくさい（1・国債 2・子、臭い（くさい））

床 一時停止 32・6度。

桐「止まったわね。」

女ナレ「ノルマをクリアしたので、床の傾きが止まりました。第2ゾーンに移動してください。」

そして第2ゾーンの足場が現れる。

残り7分35秒。

果たして3人は無事次のゾーンに行けるか・・・。

床の間 その2

床の間に挑戦中の俺妹チームの桐乃・京介・麻奈実。

第1ゾーンのクイズをクリアし、第2ゾーンの足場に向かう。

第2ゾーンの足場が現れる。

麻「さっきより床が少し傾いたね。」

桐「どうする?。」

京「さっきと同じ方法で移動しよう。」

そう言うところ桐乃は京介を土台にして、第2ゾーンの足場に向かうとする。

桐「行くわよ。」

バツ

飛び移った。

そして無事にたどり着いた。

麻「次は私ですね。」

麻奈実も桐乃同様、京介を土台にする。

桐「ちゃんと掴みなさいよ。」

桐乃は手を伸ばす。

麻「行きますよ。」

恐れながらも麻奈実は第2ゾーンに飛び移ろうとする。

バツ

飛び移った。

麻「あわわ……。」

ヒヤッとしながらも桐乃の手を掴んで、なんとか足場に着いた。

桐「全く、世話が焼けるわね。」

桐乃はブツブツ言う。

麻奈実は足場を上る。

京「よし、最後は俺だ。」

京介は助走をつけて足場へ移ろうとする。

バツ

飛び移った。

京「おっとっと……。」

足と手が足場につき、京介は無事に上った。

桐「ここも3人落ちずに済んだわね。」

女ナレ「第2ゾーン、クイズスタートです。床が傾き始めます。」

床 再始動

床が再び動き始め、第1ゾーンの足場がなくなる。

女ナレ「共通ワードクイズ、正解ノルマは2問。第1問。」

1・待ち合わせの会社を探している人が道で他の人に、会社がある所はどこかと聞いて、近くにあるとわかって一言。
2・注文したそばを店員さんが持ってきたが、新聞に夢中で全くそばに手をつけていない客に店員さんが一言。

る

桐「会社は近くにあった・・・？」

麻「そばを手につけていない・・・。」

京「近くにあったをどう表現するかだな。」

考える3人。

すると桐乃が、

桐「そばを食べないとのびちゃうわね……。」「

そう言うと京介が、

京「そばがのびる……。そばのびる……。びる……。わかった、
『そばのびる』だ!」

桐「あっそうね!」

京介がボタンを押す。

3人「『そばのびる』!」

ピンポン

正解 そばのびる（1・そばのビル 2・そば伸びる）

桐「あんた、うまいフォローだったね。」

京「余計なお世話だ。」

女ナレ「第2問。」

1・妻が自家製のパンを夫に見せて一言。

2・無人島にさまよう男2人。Aが腹がすいたあまり、履いていた
下着を食べ始め、Bが一言。

た

5文字目は小さい文字。

京「下着を食べた・・・？」

桐「自家製のパンということはパンを作ったわけよね？」

京「パンを作った・・・、パン作った・・・パンツ・・・食った・・・あっ！」

桐「そう！『ぱんつくった』よ！」

桐乃はボタンを押す。

カチツ

桐・京「『ぱんつくった』！」

ピンポンピンポーン

正解 ぱんつくった（１・パン作った ２・パンツ食った）

床 一時停止 床３４・９度 残り４分４５秒

女ナレ「ノルマをクリアしたので、床の傾きが止まりました、第３ゾーンに移動してください。」

そして第３ゾーンの足場が現れる。

桐「（さっきと）同じやり方でいいわよね？」

京「ああ。」

麻「それでいいです。」

桐乃は京介を土台にする。

桐「また角度がきつくなってるけど……。」

桐乃は傾いた角度に警戒するも、

桐「よし、行くわよ!」

桐乃は全力で第3ゾーンの足場に飛び移る。

バツ

飛び移った。

そして足場に桐乃の手がつく。

桐「危なかったわね……。」

桐乃は言いながら、足場を上る。

麻「これはさすがに落ちるんじゃないかなあ……。」

麻奈実は心配するが、

京「大丈夫だ。しっかりと桐乃の手を掴めばいい。」

京介がそう言うと麻奈実は、

麻「わかったわ。」

リラックスした表情で言う。

桐「絶対に手を離さないでよ。」

桐乃は手を伸ばす。

麻「じゃあ行くよ。」

麻奈実は足場に飛び移ろうとする。

麻「えいっ！」

飛び移った。

ガシッ

麻奈実は桐乃の手を掴む。

麻「わわわ・・・。」

麻奈実は恐れるが、

桐「ちゃんとしっかり掴んでよ！」

麻「は、はい。」

そう言うとな麻奈実は慎重に足場に移動する。

麻「危なかったです。」

麻奈実はほっとする。

京「よし、最後俺行くぞ。」

京介は助走をつけて、足場に移動しようとする。

バツ

飛び移った。

ガシッ

足場に京介の手が来る。

京「おっとっと・・・。」

京介は何とか足場に乗ってくる。

京「よし、何とか誰も落ちずに、第3ゾーンまでついたな。」

サポートルーム

沙織「おおっ、3人ともすごいぞな。」

黒猫「誰も落ちないなんてあの3人すごい・・・。」

大河「あの3人、なかなかやるわね。」

亜美「本当に侮れないわね。」

竜児「これは相手強いな。」

両チーム、3人を褒める。

――――

男ナレ「なんというあざやかなチームワーク！何かと張り合いながらも力を合わせれば出来る3人である。」

女ナレ「第3ゾーン、クイズスタートです。床が傾き始めます。」

床 再指導

床が傾き始め、第2ゾーンの足場がなくなる。

女ナレ「共通ワードクイズ、正解ノルマは1問。問題。」

1・12月2日、Aが大事な用事にいつ来れるかと聞いて、Bが来週なら予定が開いてると言って、Aが一言。

2・料理店に言って、おいしいと評判の力二を頼んだら、本当においしかったので一言。

る

桐「これ難しいわね……。」

麻「何でしょう。来週が開いてるということは一週間後ですよね。」

京「12月2日がかなり重要な所だな。」

麻「一週間後ということは9日ですね。」

桐「ここのか……、ここのかにいける……ここのかにいける！」

桐乃はボタンを押す。

桐「『ここのかにいける』！」

ピンポンピンポン

正解 ここのかにいける（1・9日^{じゅうのか}に行ける 2・ここのかにいける）

床 一時停止

床が止まる 床36・1度 残り2分40秒

京「無事クリアしたな。」

そしてモニターにファラ男が現れる。

ファラ男「いや、君たち3人すごいよ！性格全然違う3人だけど意外とチームワークいいんだね。」

桐「今回だけよ。さすがに人を見捨ててゲームはできないわ。」

京「桐乃は意地っ張りだからな。」

麻奈実「私もここまで来るとは思いませんでした。」

さあ3人はファラ男像を獲得するために最後の難関に挑む。

果たしてファラ男像を獲得できるか・・・。

床の間 その3

見事床の間で誰も落ちずに第3ゾーンまでたどり着いた俺妹チームの3人。

さあ3人はファラ男像を獲得するための最後の難関に挑む。

男ナレ「ここから3人は、黄金のファラ男像への最後の難関、坂落ちの試練！」

これから出題されるのは3択クイズ。正解と同じ色の玉を手に取り、坂の下にある顔の口にはめ込む。正解すれば、ステージクリア！」

3人の反対側にある方向に赤・青・黄色の3つの玉がある。

下には玉を入れるための口とボタンがある。

男ナレ「制限時間は2分。時間一杯まで、残っているメンバーがチャレンジできる。」

ファラ男「それでは、足場を出しておきましょう！」

京「足場・・・？」

すると3人の真下に足場が現れた。

桐「あれね。」

麻「あそこまで行くの怖いな・・・。」

ファラ男「それでは、皆さんの検討を祈ります！頑張っ
てねー。」

そう言うともニターからファラ男が消える。

女ナレ「それでは、坂落ちの試練、スタートです。」

カチャン

ロープのロックが解除され、使えるようになった。

ピーーーーー

坂落ちの試練 開始

2分のカウントダウンが始まる。

床 再始動

床が傾き始める。

桐「また傾いてきたわね。」

女ナレ「正しい意味はどれ？クイズ。」

問題・「板魚」の正しい意味を次の3つから選
びなさい。

赤・ヒラメ

青・カレイ

黄色・サバ

京「『板魚』・・・？あまり聞かない言葉だな。」

麻「ヒラメとカレイって何が違うのかな？」

桐「『左ヒラメの右カレイ』という言葉聞いたことがあるわ。確か置いた位置でヒラメかカレイかということを判別できると言っていたわ。」

京「じゃあヒラメかカレイだな。サバはなんか違う気がするな。」

桐「確かヒラメの方がカレイより貴重じゃなかったじゃないかしら？だってお寿司でヒラメはあるけどカレイはなかったし。」

麻「ああ確かにそう言われれば。じゃあヒラメじゃないんですか？」

桐「ちょっとまだ確定したわけじゃないけど・・・、時間も関係するからじゃあヒラメね。」

京「じゃあ俺が行こう。」

桐「あんた大丈夫なの？」

京「大丈夫だ。」

そう言うとき京介は、ロープのある所まで行こうとする。

バッ

京介はロープを掴む。

京「危ねえ危ねえ・・・。」

京介もこれにはヒヤツとするも、玉のある所まで上る。

京「確かヒラメは赤だったな。」

桐「そうよ、赤よ。」

京介は赤の玉を手に取り、腰に引っ掛けているポジエットに入れる。

京「あとはあそこまで行けば。」

京介は深呼吸をして、真下の足場に降りようとする。

ここで残り1分となる。

位置を調整し、京介はロープを手から離す。

そして見事足場につく。

京「よし、これを・・・。」

京介は赤の玉を壁の口に入れ・・・、

カチッ

ボタンを押した。

沙織「正解であってほしいであるな。」

黒猫「当たって・・・。」

沙織と黒猫は祈る。

亜美「間違えろ！間違えろ！」

亜美は間違いだと祈る。

男ナレ「これが正解なら3人クリアとなる！果たして!？」

ピンポンピンポン

正解

桐「正解？」

京「そうみたいだ。」

女ナレ「坂落ちの試練、成功です。」

麻「クリアですか？」

桐「正解したから、そうに決まっているじゃない。」

沙織「おおー！3人成功したでござるな！」

黒猫「お見事。」

喜ぶ2人。

亜美「あちゃー、正解されちゃったわね。」

竜児「これは俺たちのチーム苦しくなるな。」

とらドラチームに不安が声が出るが、

大河「でもまだ私たちのチーム、挑戦していないでしょ？ 私たちもたくさん稼げばいい話じゃない。」

竜児「まあそれはそうだけだな。」

そして床が元に戻る。

京「本当に誰も落ちずに成功するとは思わなかったな。」

京介は少し疲れた表情を見せる。

ピーー

宝箱のロックが解除され、3体のフアラ男像が出てくる。

3人はフアラ男像を手取る。

男ナレ「俺妹チーム、息の合ったチームワークのおかげで3人分のフアラ男像をゲット！」

3人はサポートルームに戻る。

フアラ男「君たち本当にすごいねー。最後まで3人で考えた末、正解したんだから。」

桐乃「ふん、別に協力したくてしたわけじゃないのよ。」

ツンとした表情をする桐乃。

京介「桐乃、やっぱりお前本当に強情っぱりだな。」

少しあきれ京介。

フアラ男「じゃあ俺妹チーム、大活躍だったということで、宣伝を

してもらいます！宣伝は後書きに方で！」

次はとらドラチームが挑戦。

床の間 その3（後書き）

12月7日「俺の妹がこんなに可愛いわけがないComplete Collection+俺妹コンプ+!」が発売！
アニメで放送されて流れたED曲が勢ぞろい！
新録ボーナストラック曲もあるよ！

とらドラチームの挑戦 洞窟の間 その1

とらドラチームが挑戦する第1ステージは洞窟の間。

挑戦するのは、逢坂大河・北村祐作・川嶋亜美の3人。

大河は好意を持っていたこともある北村と犬猿の仲の亜美で果たしてチームをうまくまとめられるか！？

3人は部屋に入る。

亜美「ここが私たちが挑むステージ？」

北村「1から3と書かれた扉みたいなのがあるな。」

大河「これ、『ここ開けて』って書いてあるわね。」

大河は『ここ開けて』と書かれた壁を剥がして開ける。

モニターが現れる。

そしてモニターにファラ男が。

ファラ男「ファラファラファラファラ、ようこそ洞窟の間へ！大河、その2人でちゃんとまとめられる？このステージはチームワーク大事よ。」

大河「北村君は頼りになりそうな所があるけど、問題はばかり（亜美の事）の方だ。」

亜美「それはどーゆー意味なの？私が信用できないって言いたいの

？」

大河「私をいなくさせようと、何かしてくる可能性があるのよ。」

亜美「まあ逢坂さん、本当に素直じゃないわね。」

北村「この2人がうまく絡み合えばいいけどなあ……。」

北村は2人がケンカにならないかを心配している。

男ナレ「この部屋のルールを説明しよう。まず3つの洞窟でそれぞれ3択クイズに挑戦。洞窟内にある、3つの宝玉の中から、正解だと思ふものを選び解答。但し、選択肢が見れるのは洞窟の中だけ。そのため1人が洞窟の中へ入り、選択肢を仲間に伝え、相談して答えを決めなければならない。クイズに正解すれば、最後の難関に挑戦するための石版を獲得できる。しかし不正解だと、洞窟の床が開き、奈落の底へ。制限時間は10分。3人は通信機で情報交換し、相談しながら3択問題の攻略を目指す！」

アイヤーホイヤー

チャレンジ開始

大河「始まったようね。」

女ナレ「チャレンジスタートです。」

そしてモニターに10:00と表示される。

祐作「10分と書いてある。」

ピーーー

タイマーが動く。

亜美「動いたわね。」

ここからは、大河 大、北村 北、亜美 亜と省略します。

女ナレ「第1問。次のうち、漫画『SKET DANCE』の子供向け劇中アニメ『2人はナーバス!』で女性主人公2人の正しい人物像は、どれでしょう。」

大「これはどういうこと?」

そして第1の洞窟の扉が開く。

大「誰が行く?」

亜「逢坂さんが言った方がいいんじゃない?」

大「何で私が。」

亜「ここはメインヒロインがバシッといって、高須くんがいいとこ見せた方がいいんじゃないの?」

大「そ、そうか?」

北「早くしないと時間過ぎるぞ。」

大「わかった、私が行くよ。」

大河は洞窟に入る。

そして扉が閉まる。

北「逢坂、選択肢何て書いてある？」

大河はモニターの選択肢を見る。

大「んーと赤が『生真面目な女子学級委員長と凶暴な女ヤンキー』、青が『婚約者で結婚間近の女性と妊娠中の女性』、黄色が『2人とも女性お笑いコンビ』って書いてある。」

北「それ、本当に問題の選択肢か？」

大「確かにそう書いてあるわよ。」

北村は半信半疑そんな顔をしながらも選択肢をボードに書く。

北「なんかこの中だったらありえそうなのは『学級委員長とヤンキー』な気がするな。」

大「でもな、大抵コメディ系の漫画やアニメに出てくる劇中作っておちゃらけて普通だったらありえないような設定が多く入ってるんじゃないの？」

亜「確かにそうね。絶望先生だって、モデルにした有名人とかをお

もしろおかしく描いているわね。」

大「そう、だから私は青か黄色だと考えるわね。」

北「なるほどな。」

亜「それから『ナーバス』ってどういう意味なの？」

それを聞いて北村は、

北「確かによくよしやすいとか、神経質とか……。」

亜「あっそうなの祐作。」

亜美は納得する。

大「神経質ね……。」

大河はそれをヒントに考える。

大「それを聞いたらなんか答えは『婚約者と妊娠中の女性』と感
じるわね。」

北「本当か？」

大「なんか女性のお笑いタレントって神経質な感じの人少ない感
がする。だからお笑いコンビはないと考えた。婚約者と妊娠してい
る女性の2人なら意気投合して語り合いそうな気がする。」

北「そうか。」

北村はまあ賛成という顔をするが亜美は、

亜「私はお笑いの方がいいと思うわね。」

大「何でだ？」

亜「そのお笑いコンビが『ナーバス』っていう名前のコンビだと考えたらありえそうじゃない？今の時代、様々な名前のお笑いのグループがいるし。」

大「ああそれもありえる。でも神経質という意味を考えたら青がいんじゃないかと思う、私は。」

亜「そう？私は黄色だと思うけど？」

大「これ間違えたら私が落ちるのよ。」

亜「あつ、そうか。ふふつ。」

亜美の口を聞いて大河は、

大「（こいつ、私を落とす気まんまんだな・・・。）とにかく青よ。いい？」

北「じゃあそれでいい。」

大「じゃあ置くわよ。」

大河は青の玉を台座に置こうとする。

カチッ

置いた

男ナレ「大河と亜美がケンカになりながらも、最後は自分の意見を通して青を選択！間違えれば奈落の底へ！果たして!？」

ピンポーン

正解

大「やっぱりそうだった。」

北「逢坂の決断がよかったな。」

解説・2人はナーバス 婚約済みであるマリッジ・ブルーこと葵青子と、妊娠中のマタニティ・ブルーこと紺野藍がお互いの人生について語り合いながら、次々と現れる悪者を倒すというストーリー！。

サポートルーム

竜児「おつ、正解したか。」

「やったった、まず1問！」

正解し、3枚の石版が出てくる

そして扉が開く。

大「よし、これを・・・。」

大河は石版を持って外に出る。

北「よし、石版をここに・・・。」

石版をパズルのある所に置く。

残り6分20秒

果たして2問目はどんな問題か・・・。

とらドラチームの挑戦 洞窟の間 その1（後書き）

そういえば僕のTOREの挑戦者で釘宮理恵さんキャラって、全員洞窟の間に挑戦していますね。（神楽とナギと大河）

ちょっとこれは偶然な感じがしないでもありません（笑）

洞窟の間 その2

洞窟の間に挑戦しているとらドラチームの大河・北村・亜美。
1問目の問題を正解して、2問目に問題に挑む所だ。

女ナレ「第2問。次のうち、ドラマCD『灼眼のシャナ』で、シャナ役を演じた声優は、誰でしょう？」
ちなみにそれは2004年に発売されました。（アニメは2005年に開始）」

大「ドラマCDのシャナ？」

そして第2の洞窟の扉が開く。

大「シャナは私の中の人が演じたから、私が行く。」

大河は洞窟に入る。

北「選択肢は？」

大「赤が『堀江由衣』で、青が『田村ゆかり』で、黄色が『野川さくら』よ。」

北村は選択肢をボードに書く。

亜「これ難しいわね。」

サポートルーム

実乃梨「あつ、何か私、心辺りあるかも・・・。」

竜児「何だつて？」

実乃梨「私の中の人がやっていたような・・・。」

竜児「それ、本当か!？」

――――

北「ちょっと逢坂、シャナの真似してくれないか？」

大「シャナも真似？」

北「そうだ。」

大河はシャナの真似をする。

大「お前はもう存在しない。うるさいうるさいうるさい!」

北「なるほど、こういうイメージか。」

大「何かわかった？」

北「うーん、やっぱりくぎみーの声じゃないとシャナのイメージがつかないな。」

大「それはそうよ!」

亜「ほっちゃんって、シヤナやるイメージとは思えないわね。」

大「最近、野川さくらって見ないわね。2004年当時は人気あったらしいけど。」

北「でも野川さくらさんも・・・、やったらハマると思うんじゃないか？」

大「でも野川さんは違うと思うわ。」

亜「じゃ、消去法でゆかりん？」

大「うーん、それになるわね。」

北「でもゆかりんさんとかきみーさんって、声が似てる雰囲気を感じないということもないぞ。」

亜「だったら、ゆかりんじゃない？」

大「そうか？私はまだそれが答えという自身がないけど。」

亜「ゆかりんはこの時（2004年）、人気が起動に乗る時期だったから、演じてもおかしくない時期じゃない？」

大「そうか？」

北「時間がそろそろ4分になるぞ。」

大「わかった、じゃあゆかりんで行こう。」

――
実乃梨「違う違う！ゆかりんじゃないって！」

実乃梨は間違いだと指摘する。

竜児「大河まずいな・・・。」

竜児は不安になる。

――

大「じゃあ青置くわね。」

大河は青の玉を台座に置こうとする。

カチッ

置いた。

男ナレ「悩んだ末、青と解答！しかしサポートルームの2人は違
と指摘！果たしてどうなる！？」

ブーツ

不正解

北「あれっ、違う!？」

大「え、ちょっと待って……、」

そして……、

パカッ

大「わああっ!」

床が開き、大河は奈落の底へ……。

亜「逢坂さんどうなったの？」

北「多分落ちた……。」

女ナレ「大河さん。失格です。」

実乃梨「ああ、落ちちゃった。」

竜児「大河やつちまった……。」

2人はがっかり。

――――――――――

男ナレ「逢坂大河、悩んで決めるもあえなく奈落の底へ。脱落。」

大河がいなくなったことにより、第2の扉が開く。

亜「じゃあ私行くわ。」

亜美が洞窟の入ることになった。

亜「どれだと思う？」

北「だから自分もそれがわからないんだ。ゆかりさんでなければ・
・・。」

亜「じゃあほっちゃんにする？」

北「どうだろうな……、でも彼女もやってみれば意外と……。」

亜「じゃあ赤にするわね。」

北「亜美の言うことを信じよう。」

亜「じゃあ行くわ。」

亜美は青の玉をしまつて、赤の玉を台座に置くとする。

カチッ

置いた。

ピンポーン

正解

亜「正解だったわ。」

実乃梨「やっぱり私の中の人だったね。」

竜児「大河が落ちたのは残念だったな・・・。」

そして3枚の石版が出てくる。扉も開く。

亜美は石版を持って外に出る。

北「よし、あと1問。」

残り3分となる。

女ナレ「第3問。次のうち、最も多く既刊されている漫画はどれでしょう?」

第3の扉が開く。

北「俺が行く。」

北村が洞窟に入る。

亜「選択肢は何?」

北「赤が『魔法先生ネギま!』、青が『銀魂』、黄色が『史上最強の弟子ケンイチ』。」

亜美はボードに選択肢を書く。

亜「ネギまは違う気がするんじゃない?」

北「確かにそうだな。ネギまの作者は休載が多いと聞くから、そうになると漫画の発売がその分遅れるからね。」

亜「そうになると銀魂かケンイチのどれか?」

北「そういう事になるな。」

亜「銀魂って、40巻超えていた気がするわ。」

北「でもケンイチって何か連載の歴史が長そうな気がするんだ。」

亜「そうなの？」

北「ああ、そうならケンイチも40巻超えている可能性が高い。」

2人は考える。

北「いや、絶対ケンイチの方が多い。銀魂はなんか最近という感じがしている。」

亜「じゃあそれにしたら？」

北「うん、そうしよう。」

北村は黄色の玉を台座に置こうとする。

カチッ

置いた。

男ナレ「北村、ケンイチの方が連載の歴史が長いとイメージし、黄色を選択！果たして！？」

ピンポーン

正解

北「よし、正解だ！」

亜「祐作の言うとおりだったわね。」

残り 1分28秒

解説 魔法先生ネギま！ 36巻

銀魂 42巻

史上最強の弟子ケンイチ 45巻

竜児「北村、好判断だったな。」

実乃梨「これでクリア見えてきたね！」

モニターにファラ男が現れる。

ファラ男「よくぞここまで辿り着きました。」

亜「まあね。」

ファラ男「ところで亜美、もしかして大河がいなくなって、何か居心地良い感じがする？」

亜美はしれつとしながら、

亜「さあね、どうかしら。」

ファラ男「何か腹黒い感じ丸出しだなー。」

これから2人はファラ男像を獲得するための最後の難関に挑む。

果たしてファラ男像を獲得できるか・・・。

洞窟の間 その3

見事、洞窟の間で3問のクイズを正解したとらドラチーム。

しかし大河は失格となり、残ったのは北村と亜美。

果たしてファラ男像を獲得できるか・・・。

男ナレ「ここからは、ファラ男像をかけた最後の難関、石版の試練！挑戦者が挑むのは、漢字石版パズル。石版は第1と第2の洞窟で3枚ずつ、第3の洞窟で4枚入手。制限時間内に10枚の石版で3文字の言葉を3つ作ることができたらクリア。ただし1枚はダミーとなっている。制限時間は1分30秒。」

そして第3の扉が開く。

ファラ男「石版の試練、スタート！」

ピーー

スタートした。

そして4枚の石版が出てくる。

北「早く持って出よう！」

北村は4枚の石版を持って外に出る。

2人は石版パズルに向かう。

3文字の言葉を3つ作れ。（ただし1枚はダミー）

海・科・地・御・小・大・在・中・所・児

亜「これ、『大中小』じゃない？」

北「そうか？じゃあ一応並べよう。」

大中小と並べる。

北「『所在地』があるな。」

所在地と並べる。

北「あれ？これじゃ残り並べても意味不明になるな？」

亜「じゃあこれ違うつてこと？」

北「そうみたいだ。」

改めて考え直す。

亜「この『児』、何かしら？」

それを見て北村は、

北「ん？小児・・・あつ、『小児科』だ。」

亜「確かにあるわね。」

小児科と並べる。

女ナレ「残り１分です。」

北「次は何だろうな。」

亜「地中・・・地海・・・。」

北「これは『地中海』だな。」

地中海と並べる。

亜「この残りで作れる？」

残った石版を２人はじつと見る。

北「・・・わかった！『大御所』だ！」

亜「あ、それよ！」

女ナレ「残り３０秒です。」

大御所と並べる。

1・小児科

2・地中海

3・大御所

カチッ

北村はボタンを押す。

ピンポンピンポン

亜「正解？」

女ナレ「石版の試練、成功です。おめでとございます。」

北「クリアのようだね。」

亜「やったわね。」

残り25秒で解く。

サポートルーム

実乃梨「やったやった！」

実乃梨は喜ぶ。

竜児「これで差が縮まったな。」

桐乃「相手チームもクリアして1ポイント差ね。」

そして石版が開き、ファラ男像が出てくる。

2人は2体のファラ男像を手取る。

北「逢坂がいなくなって、その分取れなかったのが残念だった。」

男ナレ「とらドラチーム、終始冷静で石版の試練をクリアし、ファラ男像2体獲得！」

3人はサポートルームに戻る。

ファラ男「2人とも、よく頑張りました。」

大河「途中から私の立場がなくなって、全然うれしい気がしない。」

ファラ男「ていうかさ、逆に大河がいなくなって、後がやりすくなったんじゃないのかな？」

大河「何だそれは！？どいうことよ!？」

亜美「確かにそうかもね。」

亜美はふふつと言う。

大河「お前・・・!」

大河は亜美を手を出しかけようとするが、竜児が止めに入る。

ここまでのファラ男像獲得数は俺妹チーム3体、とらドラチーム2体で俺妹チームがリード。

勝負の結果は次のステージで決まる。

果たして勝つのはどちらか・・・。

洞窟の間 その3（後書き）

現在、とらドラドラマCD第1巻が絶賛発売中！亜美をメインとしたドラマCDです！他にも実乃梨をメインとした第2巻も12月21日に発売！大河も後に発売されるよ！
さらに来年1月25日にはベストアルバムも発売！

崖の間 その1

直接対決となる第2ステージは崖の間。

挑戦するのは、俺妹チームから高坂桐乃・沙織・バジーナ・黒猫。
とらドラチームから逢坂大河・高須竜児・櫛枝実乃梨。

壁にはわずかな道、下は奈落の底。中央には宝箱。

左側から俺妹チーム。右側からとらドラチームの面々が入ってくる。

桐乃「あ、あんたたち……。」

大河「ふーん、そっちのチームもここに挑むのね。」

竜児「ということは2チームで対決ということか？」

そしてモニターにファラ男が現れる。

ファラ男「ファラファラファラファラ、ようこそ崖の間へ！黄金のファラ男像を手に入れたければ、崖を進み、紋章を1人ずつ踏んでちょーだい。」

6人は崖を進む。

沙織「わー、これは本当に怖いでござるなー。」

実乃梨「これすごい高さだねー。」

位置

俺妹チーム

左側 左 黒猫 右 沙織

右側 桐乃

とらドラチーム

左側 左 竜児 右 大河

右側 右 実乃梨

そして6人は紋章を踏む。

すると・・・、

ゴゴゴゴゴ・・・

大河「な、何だ？」

壁がチームを分断するように現れる。

黒猫「何か出てきた。」

実乃梨「あつ、ホントだ。危ない。」

一部のブロックが現れる。

黒猫・沙織 A - 7・C - 5・C - 10・D - 5・D - 10・F - 6

桐乃 A - 5・B - 5・C - 9・D - 2・D - 10・E - 2・F - 6

竜児・大河 A - 5・C - 10・E - 2・F - 2・F - 6

実乃梨 A - 6・B - 6・C - 9・D - 2・D - 10・E - 2・F

- 5

ブロックの番号

A B C D E F

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

竜児「危ねえ危ねえ・・・。」

大河「これはびっくりしたな。」

男ナレ「それではルールを説明しよう！この崖の間はクイズ出題と同時に背後のブロックがせり出し、解答者を崖から落とそうとする。クイズに正解すれば、ブロックは停止。勝負はどちらかのチームが全滅した時点で、残っているチームの勝利となる！

尚、このステージでは1人につきファラ男像を2体獲得できる！つまりリードされているとドラチームも逆転の可能性は十分ある！」

竜児「俺のチームも1人でも残れば勝てるってことだな。大河、櫛枝、落ちるんじゃないぞ。」

大河「わかってるわよ！」

実乃梨「落ちないように頑張る！」

アラ男「皆さん、準備が出来たようですね、それではがんばってくださいねー。」

モニターからアラ男が消える。

アイヤーホイヤー

チャレンジ開始

桐乃「始まったわね。」

ここからは桐乃 桐、沙織 沙、黒猫 黒、大 大、竜児 竜、実乃梨 実と省略します。

女ナレ「チャレンジスタートです。最初の問題はイラスト変換クイズです。」

例題

動物

答えは、夫が『^{せい}星』で出来ているということオットセイ。

女ナレ「黒猫さんへの問題です。このイラストは何を表しているの
でしょう?。」

第1段階 A - 3・B - 2・F - 4・F - 5

食べ物 早早早早米

黒「何?」

考える黒猫。

黒「早いが4つあるわね。」

第2段階 C - 9・E - 2・F - 1・F - 3

黒「はやよんこめ?」

ブーッ

黒「はやよんまい?」

ブーッ

黒「何なのこれ?」

無表情のまま言う黒猫。

第3段階 A - 1・A - 2・B - 1・D - 6・F - 2

沙織「うわっ、ブロックが出てくるな。」

ヒント 米を別の言い方で。

黒「米を別の言い方？ごはんとか？朝ごはん？」

ブーツ

黒「わからない。」

第4段階 A - 4・A - 8・D - 1・D - 9・E - 1・F - 7・F - 8

桐「ちょっと！まだわからないの！？」

沙「パスという手もあるでござる。」

沙織は右足を上げながら言う。

黒「ごめんなさい、パス。」

パスした。

桐「ああっ、もう……。」「

あきれる桐乃。

女ナレ「ちなみに、ただいまの問題の答えは、『^{はや}早』が4つの『ライス』で、ハヤシライスでした。」

黒「あつ、ライスということね。」

納得する黒猫。

桐「あつ、じゃないわよ。私たちもうパスが使えないじゃない!」

女ナレ「俺妹チームはパスはもう使えません。」

サポートルーム

京「黒猫の奴、いきなりパス使いやがった……。何やってんだ……。」

京介も呆れていた。

男ナレ「俺妹チーム、いきなりのパス!ここからは、答えられないと奈落の底へ落ちるのみ!」

男ナレ「桐乃さんへの問題です。このイラストは何を表しているのでしょうか。」

第1段階 A - 6・E - 9・E - 10・F - 1・F - 2

応援道具

頭

まゆげ

耳本 本耳

鼻

口

顔です。

桐「ん？顔なのに、目の所が本・・・、メガホン！」

ピンポーン

女ナレ「正解です。答えは、『目』が『本』になっているという
とで、メガホンでした。」

沙「早いでござるなー、きりりん氏。」

桐「こんなの簡単よ。」

桐乃はふんと言う

次はとらドラチームの番。

とらドラチームの解答は次回に続く。

現在の俺妹チームのブロック状況。

黒猫・沙織

桐乃

崖の間 その2

崖の間で対決する俺妹チームととらドラチーム。

1巡目の問題、俺妹チームの番が終わり、とらドラチームの番となる。

女ナレ「大河さんへの問題です。このイラストは何を表しているのでしょうか？」

第1段階 A - 1・A - 2・A - 7・F - 4

果物

あ ぼ

大「果物で、『あ』と『ぼ』？」

考える大河。

大「あの四角いの、何か意味あるの？」

四角いところに疑問を持つ大河。

第2段階 A - 6・B - 1・F - 5

ブロックが出続ける。

大「『あ』と『ぼ』がつく果物なら・・・、アボカド？」

ピンポン

女ナレ「正解です。」

大「でも理由があまりわからないわね。」

女ナレ「答えは、『あ』と『ぼ』が、角にあるということで、アボカドでした。」

理由を聞いて大河は、

大「そういうことね・・・。」

納得したようだ。

竜「大河が何とか早く正解できたな。」

女ナレ「実乃梨さんへの問題です。このイラストは何を表しているのでしょうか？」

実「はい。」

第1段階 E - 5・E - 6・E - 8・F - 7

野菜

P 0 0 0 0

ちなみに0（ゼロ）です。

実「何？」

驚く実乃梨。

実「Pに4つの0？何だろう？」

第2段階 A - 3・B - 2・C - 1・E - 7・F - 6

実「ピーゼロよん？」

ブーッ

実「ぴいおう？」

ブーッ

実「何？」

第3段階 C - 1 0・D - 3

実「わからない。」

竜「櫛枝！よく考えろ？何か当てはまるものを言えはいんだ！」

実「え？Pだから・・・、ピータン？」

ブーッ

実「ぴ、ピーマン？」

ピンポーン

実「あっ正解した。」

自分も何だかわからない状況だ。

女ナレ「正解です。答えは、Pが万の位にあるということので、ピーマンでした。」

実「あっ、万なのかあ？」

実乃梨はどうやら納得したようだん。

とらドラチームのブロック状況

大河・竜児

実乃梨

2 巡目

女ナレ「続いては、英単語&文字並べ替えクイズです。」

男ナレ「英単語&文字並べ替えクイズとは、バラバラとなっている英単語と文字を並べ替えて言葉を作るというもの。英単語を日本語に略して答える。」

例

か

じ

T E N

この場合は、T E Nは10なので、答えは十字架となる。

女ナレ「沙織さんへの問題です。英単語と文字を並べ替えると出来る言葉は？」

沙「拙者の番でござるな。」

第4段階の続き。

ん

L i n e

か

し

ん

沙「Line...」

沙織は考える。

第5段階 A - 9・C - 1・C - 2・C - 9・F - 9・F - 10

黒猫と沙織は体制を整える。

沙「Lineはせんだから・・・、新幹線！」

ピンポン

女ナレ「正解です。答えは、新幹線でした。」

しんかん^{せん}Line

沙「考えればすぐわかった問題だったですね。」

女ナレ「桐乃さんへの問題です。英単語と文字を並べ替えると、出来る言葉は？」

第2段階 A - 3・A - 4・E - 3・E - 5・E - 6・F - 3

い

よ

く

Chair

か

桐「えつとね・・・。」

考える桐乃。

桐「Chairはイス・・・。」

英単語がわかった所で桐乃は考える。

第3段階 A - 1・A - 2・E - 7・F - 4・F - 5

桐「よくいすかい・・・、かいいすよく・・・海水浴！」

ピンポン

女ナレ「正解です。答えは、海水浴でした。」

かChair^{いす}いよく

サポートルーム

京介「解くの早いな桐乃。」

麻奈美「桐乃ちゃん、期待できるわね。」

桐乃の实力に関心する2人。

北村「次は高須の番だな。」

亜美「高須くんが解けないと、逢坂さんも・・・。」

不適な笑みをうかべる亜美。

女ナレ「竜児さんへの問題です。英単語と文字を並び替えると、出来る言葉は？」

第2段階の続き

ん

-

B u y た

竜「ん？」

？に何ながらも考える竜児

第3段階 A - 8 ・ C - 1 ・ D - 2 ・ D - 1 0 ・ E - 3

大「うわっ、出てくる。」

出てくるブロックに体を動かす大河。

竜「確かB u yは・・・。」

B u yを日本語に直しながら考える。

第4段階 A - 9・A - 10・B - 2・E - 9・F - 1・F - 7・
F - 8・F - 9

竜「かう・・・、カウンター！」

ピンポーン

女ナレ「正解です。答えは、カウンターでした。」

B^{かう}uyんたー

大「早く答えられるわね。私とお前。意外といいチームワークね。」

竜「そうかもしれんな。」

女ナレ「実乃梨さんへの問題です。英単語と文字を並べ替えると、
出来る言葉は？」

第4段階 A - 9・A - 10・E - 1・F - 1・F - 2

Gold

ば

ぐ

い

実「・・・。」

考える実乃梨。

実「Goldは、金でしょ？でも並べ替えると何の言葉かな？」

第5段階 A - 1・A - 7・B - 1・D - 8・E - 9・F - 10

実「わっ出てきた。」

左足を別な場所に移動する。

実「金バイク？」

ブーッ

実「金ぐばい？」

ブーッ

第6段階 D - 9・E - 10・E - 3・E - 8・E - 9

実「何？」

わからずパニックになる。

ヒント 最初の文字は「ば」

実「えっ、最初は『ば』？じゃあ、ばい……。」

第7段階 A - 2・A - 4・C - 2・D - 1

ブロックが出てくる直前……。」

実「わかった、バイキング！」

ピンポン

女ナレ「正解です。答えは、バイキングでした。」

ばいG^{きん}oldぐ

竜「櫛枝、大丈夫か？」

竜児は実乃梨を心配する。

実「大丈夫、まだ何とか耐えられるから。」

現在のブロック状況

黒猫・沙織

桐乃

竜児・大河

実乃梨

3 巡目は次回に続く。

崖の間 その3

崖の間は3巡目に入る。

そして、英単語&文字並べ替えクイズはまだ続く。

3巡目

女ナレ「黒猫さんへの問題です。英単語と文字を並べ替えると出来る言葉は？」

第5段階の続き

よ

Nine

く

し

黒「Nine? 確か9ね。」

第6段階 A - 10・C - 3・D - 4・D - 7

沙「わっ、ここも出てくるでしゅね。」

沙織は手を移動する。

黒「きゅうよく・・・? 変な言葉ね。」

答えを導こうとする黒猫。

黒「『きゅう』はどこに入れるべきなのかしら。」

第7段階 D - 8・E - 9

沙「わわっ、ここにも出てきたです。」

沙織は足を上げる。

沙「まだでござるか？黒猫氏は。」

黒「まだ……。しよくきゅう……。？」

注・実はこの『よ』は小さい『よ』！

第8段階 D - 2・D - 3・E - 3

とその時、

黒「きゅうしよく……。給食！」

ピンポーン

女ナレ「正解です。答えは、給食でした。」

Nine^{きゅう}しよく

黒「あれは小さい『よ』だったのね。」

沙「でもブロックがここまで出てきたでござる。」

確かに沙織の頭の方のブロックが出掛かっている。

女ナレ「桐乃さんへの問題です。英単語と文字を並べると出来る言葉は？」

第3段階の続き

な

く

S
e
e

こ

考える桐乃。

桐「S e eは見る……。」

第4段階 C - 1・D - 1・E - 1・D - 9・E - 8・F - 7

左足を動かす。

桐「泣く子見る？」

ブーッ

桐「違う、じゃあ……。」

考え直す桐乃。

第5段階 A - 2・A - 7・A - 8・B - 2・C - 2

桐「みるこくなく・・・、こなくなる・・・。これ難しいわね。」

苦戦する桐乃。

第6段階 B - 3・B - 6・F - 8

桐「こくなくみる・・・こみるなく・・・、こなみるく・・・、粉ミルク！」

ピンポン

女ナレ「正解です。答えは、粉ミルクでした。」

こな^{みる}Seek

桐「ちよつと難しかったわね。」

女ナレ「大河さんへの問題です。英単語と文字を並べると、出来る言葉は？」

第4段階に続き

ん

せ

か
ん

B
i
r
d

こ

大「なんか長いわね。」

第5段階 A - 4・B - 3・B - 4

竜「ここ来たな・・・。」

竜児は頭を動かす。

大「あれ鳥でしょ？とりせんかこん、こんなものないわね。」

考える大河。

第6段階 E - 4・E - 8・F - 3

大「せんかんことり？」

ブーッ

大「とりせん・・・、かせん・・・。」

懸命に考える大河。

第7段階 C - 3・C - 9・D - 7・E - 1

ヒント・最初の文字は「か」

大「『か』が最初？」

大河はヒントを見るが、

大「かせんとりこ．．．。」

パニックになる大河。

第8段階 C - 4・E - 7・F - 10

大「ごめん竜児、パス！」

パスをした。

竜「えっ、ちょっとおい．．．！」

女ナレ「ちなみにただいまの問題の答えは、蚊取り線香でした。」

かBird^{とり}せんこう

大「あっ、見てみれば．．．。」

女ナレ「とらドラチームは、もうパスは使えません。」

竜「こっちもパスはもう使えなくなっただな。」

大「本当にすまない、竜児。」

男ナレ「ここで大河がパスを使ってしまった！ここからは、答えられないと奈落の底へ落ちるのみ！」

女ナレ「実梨乃さんへの問題です。英単語と文字を並べ替えると出来る言葉は?」

第7段階の続き

う

こ

き

Y e a r

実「えつと・・・。」

考える実乃梨。

第8段階 A - 5・B - 3・B - 4・B - 5・C - 5

実「確かY e a rは年・・・。」

それをふまえて考える実乃梨。

実「ねんこうき・・・。」

第9段階 B - 10・C - 3・E - 3・E - 4

実「こう・・・更年期!」

ピンポン

女ナレ「正解です。答えは、更年期でした。」

こうYear^{ねん}き

実「もうそろそろまずいかも……。」

実乃梨は不安な顔をする。

4 巡目

女ナレ「続いての問題は、同じ文字入れクイズです。」

男ナレ「このクイズは、空欄の中に同じ文字を入れて、言葉を入れるクイズである。」

例 た く

正解 体育

女ナレ「沙織さんへの問題です。同じ文字を入れて、言葉にしなさい。」

第8段階の続き。

せ とか

沙「これは……。」

考える沙織。

第9段階 C - 6・E - 5・E - 6・E - 8

沙織が押し出されそうになる。

沙「わわわっ、生徒会！」

ピンポン

正解したが、

沙「わあっ！」

沙織はブロックに押し出され、落ちてしまった。

桐・黒「落ちた……。」「

サポートルーム

京介「沙織、落ちちまった……。」「

がっかりする京介。

亜美「いえーい！一人落ちたー！」

大喜びする亜美。

女ナレ「正解です。答えは、生徒会でした。」

せいとかい

女ナレ「ちなみに、沙織さん、失格です。」

男ナレ「沙織・バジーナ、正解するもブロックに押し出され、落下！脱落。」

俺妹チーム 残り2人

女ナレ「桐乃さんへの問題です。同じ文字を入れて。言葉にしなさい。」

第6段階の続き

とちか

考える桐乃。

第7段階 A - 10・F - 9・F - 10

ブロックが出ようとした時、

桐「とんちんかん！」

ピンポン

女ナレ「正解です。答えは、とんちんかんでした。」

とんちんかん

男ナレ「桐乃、なんという早さ！さすが出来る妹だ！」

ここまでのブロックの状況

黒猫

桐乃

竜児・大河

実乃梨

とらドラチームの番は次回へ続く。

崖の間 その4

4巡目、次はとらドラチームの番。

女ナレ「竜児さんへの問題です。同じ文字を入れて、言葉にしなさい。」

第8段階の続き

な な しい

竜「え？」

一瞬ヒヤツとするが、

第9段階 C - 2・D - 3・D - 4・D - 9

竜「生々しい！」

ピンポン

女ナレ「正解です。答えは生々しいでした。」

なまなましい

竜「俺、まずいな・・・。」

竜児は今にも落ちてもおかしくない状況だ。

女ナレ「実乃梨さんへの問題です。同じ文字を入れて、言葉にしない。」「

第9段階の続き

んば

実「何？」

考える実乃梨。

第10段階 A - 8・B - 7・B - 8・B - 9

足を上げる実乃梨。

実「やまんば？（ブーツ）あつ、同じ文字じゃない。じゃあままんば？」

ブーツ

実「えつ、何？」

第11段階 D - 4・D - 5・D - 6・D - 7

実「あつ、出る……。」

実乃梨は体をわずかに移動させる。

そしてわずかな隙間に体が入る。

実「ばばんば？」

ブーッ

実「じゃあ、何？」

そして最後でブロックが全部出る。

実「あっ落ちる・・・、きゃーっ！」

最後のブロックが出て、実乃梨は落ちてしまった。

竜「櫛枝が落ちてしまったな・・・。」

下を見る竜児。

――――

サポートルーム

北村「櫛枝がいなくなった・・・。」

亜美「残念ね。」

――――

女ナレ「ちなみに、ただいまの問題の答えは、ビビンバでした。」

びびんば

女ナレ「ちなみに実乃梨さん、失格です。」

とらドラチーム 残り2人

大「これでイーブンになったわね。」

5 巡目

女ナレ「黒猫さんへの問題です。同じ文字を入れて、言葉にしなさい。」

第10段階 B - 3・C - 4・E - 4・E - 7

ね
ね

黒「『ね』に『れ』……。」「

考える黒猫。

黒「ねいれい？」

ブーッ

黒「ねん……。」「

ひらめかない黒猫。

第11段階 A - 5・A - 6・B - 4・B - 5・B - 6・B - 7

ブロックが黒猫を押し出そうとし・・・、

黒「あつ、私ももうだめ・・・。」

そう言つと黒猫が落ちてしまった。

桐「黒猫も落ちたわね・・・。」

――――

京介「うわつ、これで俺のチームは桐乃１人・・・。」

亜美「やったー！あと１人落とせば私たちの勝ちね！」

――――

女ナレ「ちなみに、ただいまの問題の答えは、熱烈でした。」

ねつれつ

女ナレ「ちなみに黒猫さん、失格です。」

俺妹チーム 残り１人

男ナレ「とうとう俺妹チームは残り１人となつてしまった！桐乃、ここはしのげるか！？」

女ナレ「桐乃さんへの問題です。同じ文字を入れて、言葉にしなさい。」

第7段階の続き

きぎす

桐「……。」

桐乃は考える。

第8段階 A - 9・D - 4・D - 6

桐「……きりぎり……キリギリス！」

ピンポン

女ナレ「正解です。答えはキリギリスでした。」

きりぎりす

京「よしっ、しのいだ。」

亜「あちゃー、答えられちゃったかー。」

男ナレ「見事正解に桐乃。これでとらドラチームは一気に不利な形

勢に。しかし、正解すれば勝利への望みは繋がる。果たして正解できるか!？」

女ナレ「大河さんへの問題です。同じ文字を入れて、言葉にしなさい。」

第9段階の続き

おとごろ

考える大河、しかし竜児は・・・、

竜「あつ、俺落ちる・・・わわっ!」

ブロックに押し出され、落ちた。

大「おと・・・何?」

第10段階 B - 6・B - 8・B - 10・D - 8・E - 5

大河は足を動かす。

大「何だ? わからない!」

パニックになる大河。

大「おとな・・・おとめ・・・おとこ・・・。」

必死で考える大河。

第1段階 B - 7・C - 5・C - 6・D - 5・D - 6

ブロックが大河を押し出し・・・、

大「きゃああゝゝっ！」

大河は落ちてしまった。

北村「負けちゃったか・・・。」

亜美「逢坂さん、いいところまで考えていたのにね。」

京介「ということは俺のチームの勝利？」

麻奈美「そうみたい。」

女ナレ「ちなみにただいまの問題の答えは、男心でした。」

おとこじじろ

女ナレ「大河さん、失格です。したがって、俺妹チームの勝利です。」

崖の間 俺妹チーム 勝利！

桐「勝ったわ・・・。」

勝利が決まった途端、安堵の表情になる桐乃。

ブロックが元に戻っていく。

桐乃は宝箱の所に向かう。

宝箱が開き、ファラ男像2体が出てくる。

桐乃はファラ男像を手取る。

男ナレ「見事接戦を制し、生き残ることが出来た桐乃！俺妹チーム、ファラ男像、2体ゲット！」

さあ俺妹チームは賞金獲得のために最後の試練に挑む。

果たして賞金を獲得できるか・・・。

最後の試練 そして結果発表

見事接戦を制した俺妹チームが賞金獲得を掛け、挑むのは最後の試練。

ステージは崖の間で行う。

男ナレ「挑戦者は、部屋の中央から崖を渡り、出口を目指す。クイズに正解すること、2枚の壁が開くが、時間とともに背後の壁が閉鎖され、挑戦者に迫る。壁に追いつかれる前に出口にたどり着けばクリア。尚、解答権は先頭の人間のみ。

そして挑むのは高坂兄妹！果たして兄妹の力で、賞金を獲得できるか！？」

崖の間の中央にいる桐乃と京介。

尚、賞金は1人のみ成功なら5万円。2人成功なら10万円。

モニターにフアラ男が現れる。

フアラ男「さあどうですか、桐乃？意気込みは？」

桐乃「ばっちりよ。」

フアラ男「そうですか。全ては妹に託されましたからね、京介。」

京介「全ては桐乃次第だ。まかせろ。」

フアラ男「果たしてここで兄妹愛を見せられるでしょうかねえ。」

男ナレ「ここでの問題は、サンドイッチクイズ。表示されるジャンルを参考に真ん中を埋め、言葉を作る。」

例・海の生き物　い　か

正解　イルカ

男ナレ「果たして兄妹の絆で、クリアすることができるか!？」

アイヤーホイヤー

最後の試練　開始

桐乃「始まったわね。」

ここからは、桐乃　桐、京介　京と省略します。

そして壁が開き、2人は端の壁に向かう。

野菜　れ　す

桐「レタス。」

ピンポン

海の生き物　く　げ

桐「くらげ。」

ピンポン

調味料　かし

桐「えっと・・・からし。」

ピンポン

きのこ　し　じ

桐「・・・しめじ。」

ピンポン

体の一部　また

桐「まぶた。」

ピンポン

京「いいじゃないか、桐乃。」

押すもの　は　こ

桐「はんこ。」

ピンポン

最後の壁は2問正解しないと開かない。

生き物 やり

桐「やもり。」

ピンポン

生き物 いち

桐「え、何？」

びっくりする桐乃。

桐「最後に『ち』がつく生き物・・・？」

壁が迫ってくる。

京「うわっ、来るな・・・。」

京介は迫ってくる壁を見るが、桐乃はまだわからない。

桐「何？いのち？」

ブーッ

桐「いせち・・・。」

ブーッ

壁がとうとう京介に迫ってきた。

京「おい桐乃、まだか？」

桐「うるさいわね。今考えているのよ。」

次第に壁が迫り、ついに・・・、

京「うわっ！」

壁が京介を落とした。

しかし、桐乃はまだわからない。

桐「何があるの！？」

パニックになる桐乃。

壁はとうとう1列のみとなった。そして・・・、

ドンッ

桐「きゃあっ！」

壁が桐乃を落とした。

――――

サポートルーム

沙織「ああ、桐乃氏、最後答えられなかったでござるか。」

麻奈実「あと1問だったのに。」

竜児「最後の1問か……。」

大河「私もこれはいけると思ったけどね……。」

周りは落胆とする。

最後の試練 失敗

女ナレ「桐乃さん、京介さん、チャレンジ失敗です。」

正解 いたち

男ナレ「桐乃、無念にも最後の問題の答えが出ず、俺妹チーム、賞金獲得ならず！」

2人はサポートルームに戻る。

ファラ男「いやー、残念でしたねー。」

桐乃「なんでイタチが出なかったのかと、自分も思ったわね。」

ファラ男「やっぱり桐乃も、パニックになることがやっぱりあるんだね。」

桐乃「余計なお世話よ。」

京介「まあ俺は桐乃を責めないけどな。」

フアラ男「いい兄貴だね。そしてトラドラチーム、どうでしたか？」

実乃梨「楽しかったー。」

亜美「いい番組だったわね。」

大河「私はおもしろいとは思わなかったな。私は2回挑戦したけど、フアラ男像は取れずじまいだったし。」

亜美「高須くんの事を考えていて、クイズに集中できなかったからじゃないかしら？」

それを聞いて大河は、

大河「うるさい！！」

照れながら大声で叫んだ。

竜児「あーあ、またこれだ・・・。」

竜児は頭をかく。

終わり

最後の試練　そして結果発表（後書き）

次回もお楽しみに。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9865y/>

第2回アニメキャラ限定 謎解きバトルTORE!

2011年12月17日22時52分発行